Claude Code講座の練習として作った提案です。

クラウドワークス アカデミーの公式の資料ではありません。運営の方には提出していません。ページの内容や料金は2026年11月18日に確認したもので、今は変わっている可能性があります。

練習で作った改善提案のサンプル|対象: クラウドワークス アカデミー「Claude Code講座【初級】」のページ

1. いまのサイトで分かったこと

確認したページ: https://academy.crowdworks.jp/course/ai/claude-code(2026年11月18日に確認)
作成: Hattori Yuto(Claude Code講座の練習課題として作成)

ページに書かれている講座の内容

料金	39,600円(税込)。別途、Claudeの有料プランが必要
期間	学習の目安は約3週間。受講期間は未定。終了後1週間まで閲覧できる
形式	動画、Slackのチャット、現役メンターへの質問(受講中は何度でも)
内容	Week1は自己紹介スライド、Week2は架空の発注に対するnote記事、Week3はポートフォリオサイトの公開
サポート	無料個別相談会(30分、オンライン)、公式LINE、note記事の添削とフィードバック
いまの状態	受付停止中。申込ボタンはなく、募集の再開は公式LINEで案内

ページの流れと、申し込みへの導線

上から、悩みの提示、選ばれる理由3つ、Week1〜3の内容、講師、受講者の声、アカデミーの紹介、価格・申込み、受講までの流れ、よくある質問、相談の順に並んでいます。

ボタンは「公式LINE友だち追加」と「無料個別相談会を予約する」の2種類で、ページの複数の場所に置かれています。

ページの良いところ

- 「非エンジニア」「未経験」を前面に出していて、初めての人が自分のこととして読みやすい。
- 3つの課題(自己紹介スライド、note記事、ポートフォリオ)が、仕事を得る流れに沿って並んでいる。
- 受講者の声が、年齢や状況の分かる具体的な体験談になっている。
- 講師の肩書きと経歴が書かれている。

申し込みを考える人の目線で、気になった点

- **受付停止中で、申込ボタンがない。**次の行動は、公式LINEと無料個別相談会に限られる。
- **受講者の声が、外部のnote記事へのリンク。**ページの中では読めない。
- **講座を体験できる入口が見つからない。**体験授業や試聴の記載が見つからず、あるのは無料個別相談会。
- **申込み前に知りたい情報が見つからない。**支払い方法、税抜価格、返金の有無、ライブ授業の有無。受講後の閲覧は1週間まで。

この整理は、ページの本文を読み取ったテキストをもとにしています。色や写真、配置などの実際の見た目は見ていません。また、運営側の考えや、申込み数などの数字は反映していません。

2. 似たサービスとの違い

Claude Codeを学べる、日本語の、非エンジニアも対象にした講座6つの公式ページを確認しました(2026年11月18日)。

サービス	料金(税込)	期間・形式	無料の入口
クラウドワークス アカデミー(対象のページ)	**39,600円**	**約3週間。動画、Slack、メンター質問**	**個別相談会30分**
DMM 生成AI CAMP	月額16,280円 6ヶ月 90,530円 12ヶ月 162,800円	3ヶ月。動画、週1回のライブ、AIチューター	無料セミナー60分
RUNTEQ	247,500円 (分割は11,900円〜)	3ヶ月。毎週のミッション、週次会議	無料カウンセリング
和から	29,700円(通常53,900円)	動画約3時間20分。視聴期限なし	無料相談(講座選び)
テックキャンプ	無料(Claude Proへの加入が必要)	4日間のライブ(各60〜90分)	講座そのものが無料
Schoo	コースページに記載なし	1回60分の授業	おためし受講
Udemy	講座ごとの買い切り	動画(例: 6時間47分、英語)	なし

他の講座にあって、このページで見つからないもの

- **講座を体験できる入口。**テックキャンプ(4日間無料)、Schoo(おためし受講)。
- **本文に載った受講者の声や数字の実績。**テックキャンプ(参加者の声、受講者数)、RUNTEQ(満足度など)。このページは、声が外部のnote記事へのリンク。
- **ライブで学ぶ場。**DMM(週1回)、テックキャンプ(4日間)。
- **支払い方法・分割の明記。**RUNTEQ(分割、口座引き落とし)、和から(振込・カード)。
- **他の選択肢との比較表。**DMM。

このページにしか見つからなかったもの

- 3つの課題が、自己紹介スライド、note記事、ポートフォリオと、仕事を得る流れで作られている。
- 「自分・相手・案件」の3軸で、仕事をするだけで学びが貯まる設定。
- 約3週間・約4万円で、メンターへの質問とnote記事の添削が付く組み合わせ。
- 講師がフリーランス向けのコミュニティ(AIフリーランス組合)を主宰している点。

ここから言えること: 独自の強みは、仕事につなげる学びの設計にあります。一方で、その中身を「申し込む前に確かめられる入口」と、「ページの中で読める受講者の声」は、他の講座にあって、このページでは見つかりませんでした。次のページから、この2点に絞って改善案を考えました。
※「このページにしか」は、確認した6つの範囲での話です。Udemyの日本語講座のページは取得できず、紹介記事の内容は含めていません。

3. 選んだ改善案(1/2)

> **選んだ基準:** 10個の改善案のうち、効果の大きさが「大」で、私が担当できる案を選びました。この基準に当てはまったのは、案Aと案Bの2つです。残りの8案は5ページにまとめています。効果の大きさ(大・中・小)は、申し込みを考える人の目線での判断で、数字での約束ではありません。

A 講座の中身を、申し込む前に体験できる動画を足す

効果の大きさ: 大 (体験の入口が見つからず、受付停止中で確認手段も少ないため)

課題	ページには体験授業や試聴の記載が見つからず、あるのは無料個別相談会です。他の講座には、テックキャンプ(4日間無料)やSchoo(おためし受講)があります。 いまは受付停止中で申し込めないため、講座の中身を確かめる手段がさらに少なくなっています。
変えること	講座の一部(例: Week1の導入、3週間全体の流れ)を、1〜3分ほどの動画にして、ページの上部と「受講までの流れ」の近くに置きます。 どの部分を公開するかは、運営側が決めることです。
期待できる変化	文章を読む前に、講座の雰囲気や進め方が分かります。「難しそう」という不安を、実際の画面を見て確かめられます。 受付停止中も、再開を待つ人に講座の中身を伝え続けられます。
私ができること	運営側から画面の録画や講義の動画を提供してもらえる場合に、1本の動画に編集します(想定)。 YouTube・SNS向けの動画編集は、これまでいちばん多くご依頼をいただいてきた仕事です。編集では、無音や言い淀みを詰める、見どころに合わせて切り替える、飽きやすい箇所に変化をつける、の3つを意識しています。 収録、台本づくり、ページへの設置は、今回は私の担当に含めていません。
運営側に必要なこと(想定)	公開してよい素材の用意と、公開する範囲の判断。 運営の判断

3. 選んだ改善案(2/2)

B 受講者の声を、ページの中で見られる形にする(文章と動画)

効果の大きさ: 大 (選ぶ人が気にする「自分にもできるか」に直接答えるため)

課題	受講者の声は、外部のnote記事3本へのリンクです。ページの中では読めず、リンクを開く手間があり、内容もタイトルからしか分かりません。 声そのものは、年齢や状況が分かる具体的な体験談で、このページの強みの1つです。
変えること	掲載の承諾をいただいた声を、ページ内に数行ずつ載せます。 承諾が得られた方は、30〜60秒ほどの短い動画にします。
期待できる変化	同じ立場の人(未経験、年齢、状況)の声を、ページを離れずに知ることができます。 今の強みである具体的な体験談が、そのまま見えるようになります。
私ができること	受講者の方から提供された映像や音声を、短い動画に編集します。 編集では、無音や言い淀みを詰める、見どころに合わせて切り替える、飽きやすい箇所に変化をつける、を意識しています。 取材、収録、掲載の承諾取り、文章化は、今回は私の担当に含めていません。
運営側に必要なこと(想定)	受講者の方への依頼と、掲載の承諾の確認。 運営の判断

作成者について

Hattori Yuto

- YouTube・SNS向けの動画編集のご依頼が、これまでいちばん多い仕事です。
- 編集で意識していること: 無音や言い淀みを詰める、見どころに合わせて切り替える、飽きやすい箇所に変化をつける。
- この資料では、担当できると言える範囲(動画の編集)に絞って改善案を考えました。

4. 選ばなかった案の一覧

10個の改善案のうち、案Aと案B以外の8案です。「私の担当」は、担当できると言える根拠があるかどうかで書いています。
運営の判断 は、運営側が決めることが含まれる案です。

案	課題 → 変えること	効果	私の担当
案1 受付停止中でも「今できること」を前に出す 運営の判断 再開時期の公表	受付停止中で、申込ボタンもなく、次の行動は公式LINEと個別相談会だけ → ヒーロー付近に「今できること」をまとめ、再開の目安があれば載せる	大	今回の提案の範囲外
案4 講座の見どころを短い動画にして、SNS・LINEで発信する 運営の判断 発信するか、広告費	動画で中身を伝える入口が、ページからは見つからない(公式SNSの投稿は未確認) → 30〜60秒の動画にして発信し、ページにつなぐ	中	編集のみ担当できる(企画、投稿の運用、効果の測定は含めない)。広告として配信する場合の費用は、運営側の判断
案5 申込み前の不安を減らす記載を足す 運営の判断 返金の方針など	支払い方法、税抜価格、返金の有無が見つからない → 申込みブロックに書く	中	今回の提案の範囲外
案6 ライブ授業の有無と、質問の返信の目安を書く 運営の判断 サポートの体制	ライブ授業の記載がなく、質問への返信の目安もない → 有無と目安を書く	中	今回の提案の範囲外
案7 他の選択肢との比較表を載せる 運営の判断 他社名を出すか	「約3週間・約4万円」の位置づけが、ページから分からない → 無料セミナー、動画のみの講座、スクールとの違いを表で見せる	中	一部。比較に使う調査は用意済み。ページへの組み込みと見た目の設計は含めない
案8 受講後の閲覧が1週間である理由と、延長の案内を書く 運営の判断 期間の変更や延長	終了後1週間までの閲覧で、理由の説明がない → 理由と、延長や再受講の案内があれば書く	小	今回の提案の範囲外
案9 3週間の流れを、1枚の図か短い動画で見せる	Week1〜3が項目ごとの文章で、全体像をつかむのに読む量が多い(文章量からの推測) → 1枚の図か1分ほどの動画にする	中	一部。動画にする部分は編集できる。図の設計やモーションは含めない
案10 受講者の成果物を見られるようにする 運営の判断 受講者の承諾	成果物の名前は書かれているが、実物の例がページ内で見られるかは未確認 → 承諾をいただいた成果物を載せる	中	今回の提案の範囲外

効果の大きさ(大・中・小)は、申し込みを考える人の目線での判断で、数字での約束ではありません。